

届けたいアコーディオンの音色

山路 浅子（土岐市出身）



老人福祉施設を慰問する筆者

「懐かしいわね」

アコーディオンを演奏していると、いろいろな方からそう声をかけられます。ふとしたきっかけで始めて5年。最初は一曲くらい弾けたら素敵だなと思っていたアコーディオンですが、気がつけばシャンソン、タンゴ、歌謡曲、クラシック、様々なレパートリーが増えました。演奏曲が増えてくると、今度は人前で演奏したいと思うようになり、オーディションを受けたり、依頼を受けて演奏するようになりました。

2年ほど前から、福祉施設で演奏するようになり、お年寄りの笑顔を見るのが楽しみになりました。今年からは音楽と踊りのボランティア団体・特定非営利活動法人「音舞」の事務局長になり、福祉

施設での演奏活動が増えています。高齢者社会を迎える日本に大切なことはないだろうと思いますが、私たちの活動もそのなかのひとつではないだろうかと思つ毎日です。

福祉施設で演奏するとき、よく「ふるさと」をお年寄りのみなさんと歌います。あの「うさぎ追いつい・ふるさとオー・ふるさと」の「ふるさと」です。私はこの曲を歌いながら、いつもふるさとの土岐市を思い出します。

志を果たしていつの日にか帰りたい、15年前に上京した私にはとても心にしみる歌です。

いつか私のふるさとでもアコーディオンの音色を響かせたいと思っています。

■ホームページ

<http://www.din.or.jp/~asa-ya/>

■特定非営利活動法人 音舞

<http://www.din.or.jp/~asa-ya/otomail.html>

